

シラバス

| 授業科目名 | | 新たな価値共創のためのしごと論 | |
|--|---|--|--|
| 目 標 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネストレンド(SDGs、地域特性、新技術等)を活用する視点を身につける ・コーディネーションのための思考回路をつくる | |
| 概 要 | | <p>3種類のICT教材(合計 12 本)を視聴し、それぞれ1本レポートを作成する。 レポートをもとに受講者間でディスカッションを行う。</p> <p>レポートテーマ:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) やってみたい、取り入れてみたいことは何か 2) 実行するにあたり、 <ul style="list-style-type: none"> ・「情報収集をどうやって(どんなふう)に」行うか ・「自社のどの強みを生かして進めればいいのか」 ・「どの分野(組織や部門)に聞けばいいのか」 ・「誰にどんな相談をして、どうやって進めればいいのか」 ・「どんな資料を用意すればいいのか」 | |
| テ キ ス ト | | ICT 教材「新たな価値共創のためのしごと論」 | |
| 実施日 | 回 | 教育内容(ICT 教材の概要) | 備考・資料 |
| [視聴] / ～ / [反転 授業] / | 1 | SDGs概論① SDGs を学ぶ価値 国連大学サステナビリティ高等研究所の永井三枝子氏がSDGsとは何か、そして今後求められる人材について解説する。SDGsと経済・金融の関わりについて野村証券野村ホールディングスの園部晶子氏と、2018 年ジャパンSDGs(外務大臣)賞を受賞した会宝産業の近藤高行氏が対談。経団連SDGs本部長の長谷川知子氏が取り組みを語る。 | 2週間で4本視聴。レポートを1本につき1つ作成。 反転授業を 1本1時間を目安に行う。 |
| | 2 | SDGs概論② 多様化する価値観と共創 金沢市の高校教師、吉川佳祐氏は「ミニマリスト」。必要最小限の持ち物で、丁寧な暮らしを実践する。富山県高岡市の鋳物メーカー「能作」は製品が売れない、後継者がいないという悩みを抱える伝統産業の未来可能性を追求している。産業観光という道を選ぶことで、ヒトとモノを循環させるという新たな地域の活性化に挑んでいる。 | |

| | | | |
|---|---|--|---|
| | 3 | <p>SDGs概論③ ボーダレス社会</p> <p>「誰一人取り残さない」という SDGs の理念と企業の出会いが新たなビジネスチャンスとなる。シューズメーカー「アシックス」のブランドであるオニツカタイガーでは、自閉症の兄妹アーティストの絵画をシューズに採用している。十分な教育を受けることができない子どもたちに学習機会を届ける「すららネット」(東京)の取り組みなどを紹介。</p> | |
| | 4 | <p>SDGs概論④ 行政から市民への広がり</p> <p>琵琶湖を健全な姿で次世代に引き継ぐ滋賀県の官民挙げた環境保全の取り組みを紹介。近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神が SDGs の精神と合致している。第1回「ジャパンSDGsアワード」(2017 年)の特別賞を受賞した北九州市では、商店街がエコルーフ(太陽光パネル)を設置したり、空き店舗などを積極的に活用している。</p> | |
| <p>[視聴]</p> <p>/ ~ /</p> <p>[反転授業]</p> <p>/</p> | 5 | <p>新技術概論① AI</p> <p>人間のような「知的」な知能とされるAIには3つの構成要素がある。AIと機械学習、そして深層学習(ディープラーニング)だ。機械学習は特定事象のデータを学習し、モデルを獲得して判断や予測を行う。ディープラーニングは機械学習の手法の一つ。「アマゾン ウェブ サービス ジャパン」の亀田治伸氏がそれぞれの特徴について解説。総合司会は石田貢氏。</p> | <p>2週間で4本視聴。レポートを1本につき1つ作成。</p> <p>反転授業を 1本1時間を目安に行う。</p> |
| | 6 | <p>新技術概論② ブロックチェーン</p> <p>仮想通貨ビットコインの基盤技術として知られるようになった「ブロックチェーン」は金融や流通、契約取引を始め、食品のトレーサビリティなど幅広い分野での活用が見込まれている。ITベンチャー「スタートバーン」の大野紗和子氏がブロックチェーンをめぐる法制度や導入事例について説明する。司会の石田貢氏とそのビジネス創造について語る。</p> | |
| | 7 | <p>新技術概論③ 5G・IoT</p> <p>高速大容量、低遅延、多数同時接続の特徴を持つ次世代通信規格「5G」について、総務省の「5G利活用アイデアコンテスト」で入賞した活用事例の紹介。野村総合研究所の亀井卓也氏が5Gの未来可能性について解説。AI に代表されるデジ</p> | |

| | | | |
|------------------------------|----|---|--|
| [視聴] / [反転 授業] / | | <p>タルテクノロジーについて、「インテック」の中川郁夫氏がデジタルイノベーションについて独自の視点で語る。</p> | <p>2週間で4本視聴。レポートを1本につき1つ作成。</p> <p>反転授業を1本1時間を目安に行う。</p> |
| | 8 | <p>新技術概論④ AR・MR・VR</p> <p>現実の世界と仮想の世界をIT技術で融合する バーチャルの世界（AR拡張現実・MR複合現実・VR仮想現実）。その領域は学校の授業や終活、社員研修、交通安全システム、医療・介護など様々なシーンで広がりを見せている。ITベンチャー「Mogura」の久保田瞬氏、同じく「ジョリーグッド」の上路健介氏が自らの起業体験を交えて解説する。</p> | |
| | 9 | <p>地域概論① 生涯活躍のまち</p> <p>内閣府の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、『生涯活躍のまち』構想を推進する。石川県白山市にある社会福祉法人「佛子園」の雄谷良成氏が「ごちゃまぜ」のコンセプトを紹介する。子ども、若者、お年寄り、障害のある人・ない人、日本人や外国人、それらの人々が一緒に集うとことで街に活気が生まれ、それぞれの人に役割が生まれる事例を紹介する。</p> | |
| / | 10 | <p>地域概論② 地域商社「ブランド価値創造の手法」</p> <p>地域ブランドコンサルタント、金子和夫氏による講義。地域ブランドとは、経済のグローバル化が進展していく中で、地域が自らの個性や強みなどローカル特性に徹底的にこだわり、地域でしかできないことを明確にして、世界に対して発信していく取り組みでもある。地域ブランドの戦略づくりをテーマに、地域資源の再評価、アクションプランについて解説する。</p> | |
| | 11 | <p>地域概論③ 地域商社「事業展開と地域商社の役割」</p> <p>地域ブランドコンサルタント、金子和夫氏による講義。地域ブランドとは、農林水産業、食品産業、伝統工芸産業、観光サービス業、商業など幅広い。競合する地域との競争優位を確保する手法が地域ブランドでもある。地域ブランド戦略の作成、商品開発、ブランドのデザイン、広報戦略・情報発信、市場調査、地域商社の設立について事例をもとに紹介する。</p> | |

| | | | |
|--|----|--|--|
| | 12 | <p>地域概論④ 地域資源とインバウンド</p> <p>少子高齢化が進む地域で交流人口を増やすことによって、地域の活力を高めていこうと積極的にインバウンド観光に取り組む石川県能登町の一般社団法人「春蘭の里」の多田喜一郎氏が語る。金沢の古民家を再生してゲストハウスを展開する株式会社「こみんぐる」の林俊伍氏は世界に金沢の文化資源を発信していきたいと語る。</p> | |
|--|----|--|--|